

米モンタナと交流継続へ

姉妹提携40年 蒲島知事、来月訪問

県と米西部のモンタナ州の姉妹提携が今年で40年になるのを記念し、蒲島郁夫知事ら県代表団が11月6

～11日に同州を訪問する。州知事や地元の大学を訪ね、県内からの留学に対す

る支援の継続を働きかける。

これまでに県内高校の卒業生3人が州立モンタナ大学の奨学金を受けて同大に進学。高校生5人が現地の高校に1年間留学した。蒲島

知事は「学生の交流を継続できるように関係者と意見交換したい」と言う。

溝口幸治県議会議長を含む県議3人と県職員7人が同行する。渡航費や滞在費の予算は計約800万円。



今年是中国南部の広西壮族自治区との友好提携40周年、台湾・高雄市と同50年の節目でもあり、県はモンタナ州も含めて各地の特徴とくまモンを組み合わせたロゴマークを作った。

崇城大芸術学部が協力を。少数民族「壮族」の衣装を着た女性、モンタナ州で多くの化石が発掘される恐竜、高雄市の公式キャラクター「高雄熊」をモチーフにした。提携先との交流イベントで使用する。

(高宗亮輔)